

神奈川県議会議員

永田まりな

MARINA NAGATA



鎌倉人 VOL.72

令和5年第2回定例会閉会

一般会計補正予算案約 49 億 6300 万円や条例改正案等全議案が可決承認され閉会しました。

5/11 に開会し、7/11 までのこの62日間は黒岩県政4期目の姿勢を問う議会となりました。今期私は、防災警察常任委員会、そして予算委員会にも所属しておりますのでどちらも質問に立ち、また一般質問にも立たせていただき、いつも以上に踏み込んだ定例会となりました。

6/27の一般質問では、鎌倉の皆様からいただいた喫緊の課題、そして子どもたちの未来、全ての皆様の命に関わる課題について黒岩知事と議論しました。質問項目は以下の通りです。この中からいくつか詳細についてご紹介します。

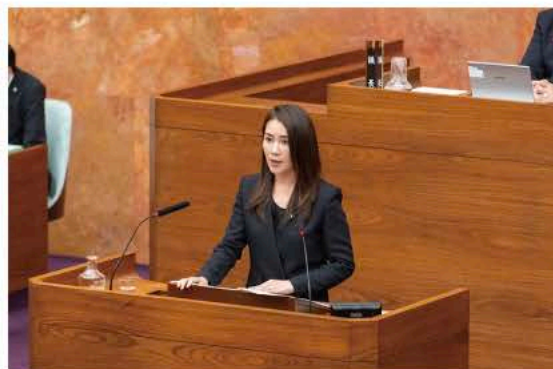
今期最初の一般質問で鎌倉の声を県政に！

- ✓ 待ったなし！**オーバーツーリズム対策**
- ✓ 風化させない！**通園バスの園児置き去り事件を受けその後の対応**
- 不妊治療に対する支援について
- 県立高校跡地の利活用について
- 鎌倉海岸七里ガ浜地区の侵食対策について
- 急傾斜地崩壊対策について
- 栄養教諭の配置拡充について

要望 オーバーツーリズムに実効性のある対策を！

コロナ禍で潜在化していたオーバーツーリズムが再び表面化している件について取り上げ「実効性のある対策を！」と、知事に訴えました。

鎌倉高校前踏切では観光客の集中により公共交通機関等の混雑のほか、違法駐車、道路にはみ出での写真撮影、ゴミのポイ捨て、個人敷地内への不法侵入等のマナー違反という言葉ではくることができない事案が多く生じて住民の頭を悩ませています。鎌倉市では、混雑の緩和や観光客の安全確保、地域住民の生活と観光振興という経済活動の両立の観点から、これまでも、民間事業者と連携し、対策を講じてきたところですが、本県においても、令和5年3月に策定した「神奈川県観光振興計画」が目指す「持続可能な観光」を図るためにも、県と地域が連携し、観光客を制限することなく、地域住民と観光客双方の満足度を向上させる方法について検討する必要があると考え、その対策を質問をしました。知事からはスマホの位置情報データを基に・観光地の時間別の混雑状況の分析・観光客の分散化を促す周遊ルートの検討をしていく方向性、そして、その研究を今年度中に着手することが答弁されました。私からはデータを使った研究に期待していること、また警察など他部署との連携も模索することを要望しました。その後開かれた防災警察常任委員会にて、アクティブ交番の運用など、警察への取り組みの要望も行いました。住民の満足度向上なしに質の高い観光はなし！この精神で今後も注視してまいります。



昨年9月5日、静岡県牧之原市で、通園バスに取り残された園児が、熱中症で亡くなるという大変痛ましい事件がありました。事件の発生から約10ヶ月が経ち、これからまた暑くなる時期を迎える中、同様の事件を起こさないようにするためにも、事件を風化させてはいけなくとも考え質問しました。通園バスに安全装置を設置することが義務化されることになり、それに伴う国の令和4年度第二次補正予算を受け、本県でも通園バスの安全装置の設置に対する補助が、令和4年度12月補正で予算措置されているなど取り組みを行っています。

安全装置は、令和5年4月1日から設置が義務化され、令和6年3月31日まで経過措置が設けられているものの、国からは可能な限り令和5年6月末までに導入するよう求められているようで、一部報道あるように、安全装置の設置は思うように進んでいません。

幼い命が亡くなるという痛ましい事件を再び起こさないためにも、こうした事件が二度と繰り返されないように、県はどのように取り組んでいこうとしているのか、見解を伺いました。

知事からは県内の安全装置の補助金活用状況は幼稚園等480施設に対して約230施設であり、今後も説明を行っていくこと、そして実地調査を行った結果を受け、様々な改善に向けて指導をしていることが述べられました。今後も周知と合わせて安全対策の研修の実施の呼びかけ等、園への定期的な確認や指導を重点的に行うとの答弁がありました。

痛ましい事件が二度と起こらないよう、あらゆる視点から子どもたちの命を守る取組を進めていくことは大変重要です。そのためにも、安全装置の設置を促進していくことは欠かせません。しかしその一方、園児の安全管理に携わる幼稚園等の現場の実情に即した取組でなければなりません。現場の声との乖離、その声をきちんと聞かずに設置率の数字だけを追いかけるようなことがあるとすると本末転倒です。今後の安全装置の設置数が伸びない原因も含め、当事者の声を聴きながら、子どもたちの安全を守る仕組みづくりを今一度、堅実に進めていただくことを求めました。



II 予算委員会にて6月補正予算の考え方について問う

約49億6300万円の補正予算は義務的経費を中心に骨格予算として編成された令和5年度当初予算に肉付けを行う予算です。当初予算については「持続可能な神奈川の推進」を図るための予算として編成しており、その当初予算に対してどのような考え方で肉付けを行なったのか、そして重点事業はなんなのか？ 黒岩県政4期目の本格的なスタートとして全会派合わせてトップバッターで質問を行いました。

その中で知事からは子ども子育て支援、デジタル行政の推進への想いが述べられ、また県の財政状況は燃料価格の高騰、世界景気情勢の変化など予断を許す状況にはなく、社会の動きを注視していく旨が答弁されました。

永田からは燃料価格の高騰に伴う対応について、国が示す推奨事業メニューのうち、農林水産業、地域公共交通に対する支援など6月補正予算としては計上されなかった分野でも現場の声を聞き、必要な支援を必要としている県民事業者に行き届くよう注視するだけでなく、フットワーク軽く柔軟な対応を続けることを強く要望しました。



II 永田まりなプロフィール



1983年2月19日生まれ40歳 七里ガ浜在住
 聖路加幼稚園 ~ 鎌倉市立七里ガ浜小学校 ~ 私立北鎌倉女学園中学校
 神奈川県立鎌倉高校 ~ フェリス女学院大学卒業

2013年 鎌倉市議選初当選、2017年 鎌倉市議選2期目当選
 2019年 神奈川県議会議員初当選、2023年 神奈川県議選2期目当選
 防災警察常任委員会、予算委員会所属、自民党神奈川県議団副団長、
 自民党神奈川県連遊説局長 公式LINEで県政情報など随時発信中！

「永田まりな」公式LINE
 友だち登録はこちら

